

## 自動計算プログラム導入



計算値	加減乗除
20	/
10	

### ■プログラムのための基本情報

- ・「計算値」のセルはC3
- ・「加減乗除」のセルはD3
- ・「20」のセルはC4
- ・「10」のセルはC5

1. 計算値は1～100以内で入力してください
2. 加算(+)、減算(-)、乗算(\*)、除算(/)を選択してください
3. 入力された計算値と、選択された加減乗除を用いて、計算結果を表示してください
4. ボタン1を押下した時に、CalcTotalSample01関数が呼ばれるようにしてください

ボタン1

### ■自分で入力をするプログラム

Option Explicit

```
'  
' 【学習ポイント】  
' ■プログラムの打ち込みと実行  
' ■プログラムのデバッグ方法（イミディエイト、ウォッチ、ブレークポイント）  
' ■変数定義  
' ■条件分岐（文字列）の使い方（IF）  
' ■メッセージ表示（文字列）方法（MsgBox）
```

Sub CalcTotalSample01()

```
Dim calc01 As Long ' 計算値 1
```

```
Dim calc02 As Long ' 計算値 2
```

```
Dim calcTotal As Double ' 計算値合計
```

```
Dim calcKind As String ' 計算種別
```

```
'  
' 計算値 1 の値を取得する
```

```
' 空白チェック
```

```
If (Cells(4, 2) = "") Then
```

```
    ' 空白の場合はエラーメッセージ表示
```

```
    Call MsgBox("セル B4 に値を入力してください")
```

```
Else
```

```
    ' セル B4 の情報を格納する
```

```
    calc01 = Cells(4, 2)
```

```
End If
```

## ■自分で入力をするプログラム



```
' 計算値 2 の値を取得する↵
' 空白チェック↵
If (Cells(5, 2) = "") Then↵
    ' 空白の場合はエラーメッセージ表示↵
    Call MsgBox("セル B5 に値を入力してください")↵
Else↵
    ' セル B5 の情報を格納する↵
    calc02 = Cells(5, 2)↵
End If↵
↵
' 計算種別を取得する↵
calcKind = Cells(4, 3)↵
↵
↵
' 計算値と計算種別を元に、計算を実施する↵
If (calcKind = "+") Then↵
    ' すべての計算値を加算する↵
    calcTotal = calc01 + calc02↵
ElseIf (calcKind = "-") Then↵
    ' すべての計算値を減算する↵
    calcTotal = calc01 - calc02↵
ElseIf (calcKind = "*") Then↵
    ' すべての計算値を乗算する↵
    calcTotal = calc01 * calc02↵
ElseIf (calcKind = "/") Then↵
    ' すべての計算値を除算する↵
    calcTotal = calc01 / calc02↵
End If↵
↵
' 計算結果を表示する↵
Call MsgBox("計算結果=" + Str(calcTotal))↵
End Sub↵
```